

## 江戸時代 3 幕府政治の動き

### <元禄時代>

5代将軍①\_\_\_\_\_の政治

武力より学問を重視し、学校（湯島聖堂）を建てるのにお金を使いました。

後継ぎができないため、僧侶の「動物を大切にせよ」と言うのを信じて

1685年に②\_\_\_\_\_を出して動物を保護します。

・江戸の火災の復興や寺院の建設、ぜいたくな生活でお金を使います。

\*質の悪い貨幣を発行したため、貨幣の価値は下がり、物価は上昇します。

#### 幕府の財政の悪化！

①の死後、学者の③\_\_\_\_\_が改革に乗り出します。

・②を廃止し、貨幣の質を戻します。また長崎貿易も制限します。（金、銀の流出を防ぐため。）

\*あまり効果があがりませんでした。

### <吉宗の政治>

8代将軍①\_\_\_\_\_の政治（紀伊藩（和歌山県）の藩主から将軍に）

→②\_\_\_\_\_の改革（③\_\_\_\_\_年）

方針

旗本や御家人に支給する米が不足しているから、米の収入を増やす

→④\_\_\_\_\_と呼ばれます。

- ・ 質素・倹約を強制する倹約令を出します。
- ・ 参勤交代を短くする代わりに、大名に米を献上させる、⑤\_\_\_\_\_
- ・ を行います。
- ・ 農民の年貢の負担を四公六民から⑥\_\_\_\_\_に増やします。
- ・ ⑦\_\_\_\_\_を進めて、耕地を増やします。
- ・ ⑧\_\_\_\_\_を作り裁判の基準をしめします。
- ・ ⑨\_\_\_\_\_を置き、民衆の意見や不満を聞きます。
- ・ 青木昆陽にさつまいもの研究を命じます。（きぎんにそなえるため。）

\*一時は成功しますが②の大飢饉がおこり、年貢の負担が重くなります。

### <田沼～幕府の衰退>

老中①\_\_\_\_\_（1772年）

お金をまわすことで財政再建をしようと考えます。

商工業者に②\_\_\_\_\_を作ることをすすめて、税をとります。

③ \_\_\_\_\_ を奨励して外国相手に儲けようとしています。

印旛沼などの干拓をすすめます。

\*しかし金儲けに走り過ぎ④ \_\_\_\_\_ がはやって批判をうけるようになりません。

\*⑤ \_\_\_\_\_ の大飢饉で、百姓一揆、打ちこわしが増加します。

→①の失脚

1787年 ⑥ \_\_\_\_\_ が老中になります。→⑦ \_\_\_\_\_ の改革

方針～質素儉約や学問を重視

・幕府の学校では⑧ \_\_\_\_\_ 以外禁します。→寛政異学の禁

・飢饉に備えて各藩に米を蓄えさせる→⑨ \_\_\_\_\_

・武士の商人への借金を帳消しにする

\*あまりにも厳しすぎて失敗します。

### 1833年に天保の大ききん

→大阪の町奉行所の役人であった⑩ \_\_\_\_\_ は、生活に苦しむ人たちを救おうと、1837年、大阪で反乱をおこします。→⑩の乱

1841年 老中⑪ \_\_\_\_\_ が政治の改革にとりかかります。→⑫ \_\_\_\_\_ の改革

方針～幕府の財政の立て直し

・物価を引き下げするために⑬ \_\_\_\_\_ を解散

・⑭ \_\_\_\_\_ を出し、江戸に流入している農民を強制的に帰す。

・江戸・大阪周辺の大名家や旗本の領地を幕府の領地にしようとしています。

⑮ \_\_\_\_\_ ←大反発にあう

\*改革の失敗→幕府の力は急速に弱まっています。

生活に苦しむ農民は、年貢の軽減や悪代官の交代などを求め、聞き入れられないと集団で領主に反抗しました。これを⑯ \_\_\_\_\_ といいます。

農村で飢饉が続くと、年でも米の値段が上がり、年の貧しい人々は、高利貸や米屋を集団でおそうようになりました。これを⑰ \_\_\_\_\_ といいます。

## 解 答

---

- \* 資料や写真、地図などを確認しながら答えあわせをしましょう。
- \* 出来るだけ漢字で書けるようにしましょう。
- \* 表記法などは、使用している教科書やテキストにあわせるようにしてください。

### <元禄時代>

- ① <sup>とくがわつなよし</sup>徳川綱吉 ② <sup>しょうるいあわれ</sup>生類憐みの令 ③ <sup>あらいはくせき</sup>新井白石

### <吉宗の政治>

- ① <sup>とくがわよしむね</sup>徳川吉宗 ② <sup>きょうほう</sup>享保 ③ 1716 ④ 米将軍 ⑤ <sup>あげまい</sup>上米の制（上米）  
⑥ 五公五民 ⑦ <sup>しんでんかいほつ</sup>新田開発 ⑧ <sup>くじかたおさだめがき</sup>公事方御定書 ⑨ <sup>めやすぼこ</sup>目安箱

### <田沼～幕府の衰退>

- ① <sup>たぬまおきつく</sup>田沼意次 ② <sup>かぶなかま</sup>株仲間 ③ 長崎貿易 ④ わいろ ⑤ <sup>てんめい</sup>天明  
⑥ <sup>まつだいらさだのぶ</sup>松平定信 ⑦ <sup>かんせい</sup>寛政 ⑧ <sup>しゅしがく</sup>朱子学  
⑨ <sup>かこいまい</sup>囲米の制 ⑩ <sup>おしおへいはちろう</sup>大塩平八郎 ⑪ <sup>みずのただくに</sup>水野忠邦 ⑫ <sup>てんぼう</sup>天保 ⑬ <sup>かぶなかま</sup>株仲間  
⑭ 人返しの法 ⑮ <sup>じょうちれい</sup>上知令 ⑯ <sup>ひやくしやういっき</sup>百姓一揆 ⑰ 打ちこわし